



# ADRC Highlights

Vol.44

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

April 1, 2002

➤ **ADRC 客員研究員レポート**

□ **アルメニア ティグラン・サイアン客員研究員**



アルメニアは世界で最も歴史の古い国のひとつです。地理的には、アルメニア高地の北東、コーカサスと西南アジアの間に位置しています。さまざまな災害のうち、アルメニアで最も多く発生しているのが地震で（全体の 94%）、その他の災害は 6%にすぎません。アルメニアでの大地震は、紀元前 18~15 世紀から発生しており、マグニチュード(M)6.5 の 735 年に起こった Vaick 地震、906 年に起こった M7.0 の Vajots-Dzor 地震、1679 年に発生した M7.0 の Garni 地震などがあります。中でも非常に悲劇的で破壊的だったのは、1988 年 12 月 7 日に起きた Spitack 地震でした。国土の 40%が被害を受け、25,000 人が亡くなり、53 万人が家を失いました。

Spitack 地震の教訓として、地震災害軽減の戦略と国土の災害管理システムは、国家の安全のために必要不可欠の分野であることが認識されました。こうした災害による被害を軽減し、国民を強大な地震から守るため、1991 年 7 月 17 日、アルメニア共和国政府のもとに国立地震防災研究所 (NSSP) が創設されました。アルメニア NSSP の組織は、中部・南部・北部の 3 つの地域に分かれており、私は南部地域で、様々なタスクを持ったチームで編成される作業部会の部会長として勤務しています。この作業部会は、緊急の際に実際に具体的な作業を行うことによって、災害による被害を軽減することを、主たる活動目的としています。

アジア防災センターは、設立以来アジア地域の被害想定、被害軽減や災害管理の分野での調整の役割を果たしてきました。また、ADRC はメンバー国と理論的な知識を共有することはもとより、災害関連の分野について学び、それを実践に移すことを支援する機関だと思います。1ヶ月前に ADRC に来て以来、1995 年 1 月 17 日に起こった阪神淡路大震災の復興を支援するための「フェニックスプラザ」、被災地の復興のために積極的に活動している長田の TMO という NGO などを訪問しました。災害前と後の被災地の実際の様々な様子を観察し、比較することができました。被災地の復興への努力の進行状況を目のあたりにできる良い機会に恵まれたと思います。

また、ADRC の研究者と共有するために、アルメニアの災害管理について紹介する機会も持ちました。私は、防災、災害への備え、災害対策、復興と復旧、地震災害への対応について学びたいと思っています。そのためにも、日本の最近地震が発生した地域をいろいろと訪れてみたいと思っています。ADRC での経験は、私が国に戻ったときにきっと私の仕事、またアルメニア NSSP、そして災害対策や管理に関わるアルメニア政府や NGO にとって役立つものとなることと思います。

(Tigran Sayyan, Head of Task Force, Armenia NSSP)

➤ **災害情報データベースのさらなる充実に向けて**

□ **NY で Technical Advisory Group Meeting 開催**

3 月 25~27 日の 3 日間、NY の国連本部において OCHAReliefWeb と CRED が主催する TAG (Technical Advisory Group)-Meeting がありました。この会議には ReliefWeb, CRED, ADRC の他に、FAO、WorldBank、OFDA/USAID、NOAA、LARED、IFRC、UNDP、ISDR 事務局が参加し、災害情報データベースのあり方や具体的な推進についてディスカッションを行いました。

今回の会議は昨年夏に実施した会議 (Highlights 31 号参照) の経過報告と今後の対応を議論するものであり、CRED の持つ災害情報データベースである EM-DAT の今後のあり方と、GDIN のキャンベラ会議でパイロットプロジェクトとして認められた UniqueID プロジェクトの進化系としての GLIDE (GLobal IDEntify) プロジェクトの推進について具体的な合意を得ました。得られた合意事項は以下のとおりです。(なお、文末の C は CRED、G は GLIDE の略)

1. 複合災害には CE(Complex Emergency)のコードを付加する。(C)
2. 複数年に及ぶ長期災害に対応するため、災害の Start と End を記述する。(C)
3. EM-DAT と GLIDE は別のものであり、EM-DAT の基準外の災害も GLIDE に登録できる。(CG)
4. GLIDE の普及のため、多くの国際機関に参加を呼びかける。(G)
5. GLIDE の普及促進のため、GLIDENUMBER.net を立ち上げる。(G)
6. ADRC はアジアのメンバー国と共に、GLIDE に対応する防災情報データベースを構築するプロジェクトを推進する。(G)

ADRC の今後の活動としては、6 月の GDIN ローマ会議で GLIDE の推進状況を報告すること、5 の GLIDENUMBER.net を立ち上げること、6 を推進することがあげられます。

CRED は今年 1 月から毎週 GLIDE 番号の発行を行っており、これは CRED のホームページで最新状況を確認できます。また、ReliefWeb では GLIDE 番号による災害の検索ができるようになりました。今後の GLIDE プロジェクトの進捗に関しては ADRC Highlights でご案内すると共に、新たに始める GLIDENUMBER.net 上で随時更新していきます。

(主任研究員 荒木田 勝)

➤ **アジアにおける最新災害情報**

□ **アフガニスタンで大地震が発生**

3 月 25 日から 27 日にかけて、アフガニスタン北部でマグニチュード 6.0 前後の地震が頻発し、大きな被害を及ぼしました。3 月 28 日現在の調べでは、800~1,000 名が亡くなり、およそ 7,000 世帯が被災しています。(国連人道問題調整事務所レポート 3/28 など)

□ **台湾でも地震による被害**

3 月 31 日、台湾北東部でマグニチュード 7.1 の地震が発生。少なくとも 5 名が死亡し、200 人以上が負傷しました。余震も引き続き発生している。(米国地質学研究所国立地震情報センターなど)

ご意見・ご要望等があれば  
右記までご連絡ください。

編集・発行： **Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)**

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1 IHDビル 3F

E-mail: [editor@adrc.or.jp](mailto:editor@adrc.or.jp) TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料： 無料 / 毎月 2 回発行 (予定)